



Global Link Singapore 2025 に参加しました！

令和 7 年 7 月 26 日(土)～27 日(日)にかけてシンガポールで開催された中高生による国際アイデアコンテストである Global Link Singapore 2025 に参加しました。このコンテストは英語で発表し、質疑応答にも英語で答えるという難易度の高いものです。研究タイトル、アブストラクトと発表メンバーは以下のとおりです。

【研究タイトル】

Reevaluating the Effectiveness of Vertical Arm Swinging in Sprinting Performance

【アブストラクト】腕振りは陸上競技の種目に関わらず大切であるため、横振りの有効性、被験者の種目による結果の違いを調査した。トレッドミル上で走行し、筋電センサーを身体に取り付け実験した。その結果、縦振りから横振りにするなど普段の腕振りとは逆の振り方をするより大きな力が入ることがわかった。また、角速度では、上半身の角速度は縦振り、横振りで大きな差はなかったが、下半身に注目すると横振りだけが値が小さくなっており、足を前に出す推進力が生まれていないため、無駄な動きになってしまっているのではないかと考えた。

【発表メンバー】 3 年 3 組 小林 令奈さん、3 年 4 組 矢島 ひよりさん

✧Global Link Singapore に参加した感想✧

私は今回の GLS が英語での発表、さらに初めての海外というのもあり、楽しみだったのと同時にとても緊張していましたが、多くの貴重な経験をする事が出来ました。一番印象に残っているのは、1 日目の発表の後にいったサマリーセッションです。これは、ポスターセッションみたいな感じで聞きに来てくれた人たちに、発表のおおまかな内容を説明していくというもので、最初は英語で意思疎通できるのかなと、とても心配に思っていました。しかし、いざ始まると、想像していたよりもはるかにフレンドリーな子が多くて、拙い英語でもちゃんと言葉が通じて色々な子と友達になることが出来ました。初めての外国の友達でとても嬉しく思っています。他にも自由行動では、日本とはマナーが違うなど感じることもあり、とても良い社会勉強になりました。英語での発表の準備はとても大変でしたが、それ以上に楽しいことも経験出来たので、GLS に参加できて本当に良かったなと感じています。



私は GLS を通して、とても貴重な体験ができたと感じています。以前から、授業の英語とは違う「話す英語」というのは難しく、自分とは遠い存在だと感じていました。そのため、GLS の発表やサマリーセッションは、テストに挑むような気持ちで迎えました。しかし、実際には、多くの海外の人がとてもフレンドリーに沢山話しかけてくださり、楽しく発表をすることができました。食事会では、英語が苦手でも完璧じゃなくても、何とか伝えて、会話できると楽しいと気づくことができ、英語のハードルが下がった気がします。「相手が話していることを理解したい！もっと自分の思っていることを伝えたい！」という気持ちから、苦手意識が強かった英語が勉強としてではなく、コミュニケーションツールと捉えることにつながり、もっと学びたいと思うようになりました。海外の雰囲気や文化を肌で感じることもでき、行ってよかったなと思い、一生の思い出になりました。

3 年 4 組
矢島 ひより

3 年 3 組 小林 令奈

